

町ぐるみん白岡「だより」

町ぐるみんの子育てをめざす

みんなあつまれ！コンサート

晴天に恵まれた七月二十二日（日）に、コミュニティセンターにおいて、「みんなあつまれ！！わいわいコンサート」が開催されました。

この企画は、泣いても、はしゃいでも、さわいでも大丈夫な乳幼児向けのコンサートです。本格的なクラシックを近くで聴くことや楽器に触れることもでき、毎年子どもたちをはじめ、保護者のみなさんにも大人気です。

当日は、開演前から子どもたちの元気な声が飛び交い、コンサートを楽しみにしている様子がうかがえました。



♪ コンサートの様子 ♪



♪ ライヤーに触れる子どもたち ♪

★参加者の声★

・子どもが知っている曲が多く、親子で楽しめました。心温まるコンサートでした。

ペープサートを使った音楽劇や曲当てクイズなどのプログラムがあり、子どもたちは曲に合わせて体全体で楽しんでいました。また、保護者のみなさんも、子どもたちといっしょに舞台上上がって楽器に触れたり、我が子の写真を撮ったりなど、家族みんなで楽しいひとときを過ごしていました。



・舞台上上がってライヤーやグランドピアノに触れることができ、貴重な体験となりました。
 ・ペープサートを使った音楽劇では、子どもがペープサートの動きを楽しそうに目で追う姿が見受けられました。来年もまた参加したいと思います。
 また、お子さんがどのような大人になつてほしいか質問したところ、「優しく思いやりのある大人」、「人の気持ちを大切に行動できる大人」、「自分の考えを持ち、しっかりと意見できる大人」と答えていただきました。

★演奏者の声★

した。
 「町ぐるみん白岡」は、今後も子どもたちの成長を応援していきます。

演奏者の吉野真紀子さん、入田直子さん、山崎美佐江さんからは、次のようなお話をいただきました。
 ・演奏していて楽しかったです。手遊び歌や音楽に合わせて体を動かすプログラムでは、お子さんたちの反応がよく、とてもやりがいがありました。



夏祭りの様子

な か ま

菁莪あおぞら会

当会は、2017年9月から有志で活動をスタート。白岡市地域活性化人材育成研修に参加したメンバーが、地域貢献のために何かできないかと「コト」をおこそうとしたことがきっかけです。

まずは、白岡市協働のまちづくりモデル事業として昨年2月に「地域の空き家について考える」をテーマにシンポジウムを開催しました。また、同日に菁莪小学校の校庭でイベントを行い、200名近くの方々が参集してくださいました。子どもからお年寄りまでたくさんの方が食事をしながら語り合う姿をみて、「地域住民提案型のイベント」も情報発信の場としてとても有効であると感じました。

昨夏は、祭りの模擬店協力や、リヤカーを引きながら野菜の販売を行いました。今後も住民の方との会話を通して、「今必要とされているコト」をメンバーと協議しながら、老若男女がいきいきと活躍できる「居場所づくり」をめざしていきます。



「町ぐるみん白岡」は、文部科学省登録の家庭教育支援チームです。家庭・地域・学校の連携を進める「懸け橋」となり、子育て活動団体同士の接着剤・潤滑油となることを目指しています。



左から、吉野真紀子さん、山崎美佐江さん
入田直子さん

・実際に生の演奏に触れることが大切だと思います。「楽しい」、「わくわくする」といった感情を早い段階から感じることで、感受性が豊かな人になっていくと思います。
・私たちの演奏を通じて、家族みんなが笑顔になり、家族の絆がより深まってもらえれば大変うれしく思います。みなさんの笑顔は私たちが演奏する上での活力となっています。

「みんなあつまれ!! わいわいコンサート」を通して親子の絆がより深まった家庭や、幼いながらも音楽の素晴らしさを実感した子どもたちもたくさんいるのではないのでしょうか。

家族みんなで音楽の楽しさや素晴らしさを実感できるコンサートにも是非足を運んでみませんか。

子育て カフェ

子育て中のお母さんの悩みや疑問にお答えします!
今回のテーマは「風しん」です。
白岡市役所の健康増進課の職員の方に
お答えいただきました!

Q そもそも「風しん」ってどんな病気なの?

A

風しんは、咳やくしゃみなどを介して感染する飛沫（ひまつ）感染症です。潜伏期間は、感染から十四日〜二十一日であり、症状は、突然の全身性の発しんや発熱、頸部（けいぶ）のリンパ節の腫れなどがあります。子どもは比較的軽く、大人がかかるのと長引く傾向があります。

また、妊娠中の女性が風しんに感染すると、産まれてくる赤ちゃんが心疾患や白内障、難聴などを主な症状とする「先天性風しん症候群」になる可能性があります。妊婦は、予防接種を受けることができません。抗体価が低い場合は、可能な限り人混みを避けるなど注意が必要です。また、妊婦の周りにいる方は、風しんを発症しないよう予防に努めましょう。未
来の子どもたちのために、ご協力をお願いいたします。

Q 「風しん」を予防するにはどうしたらいいの?

A

予防するためには、予防接種を受ける必要があります。定期予防接種の対象のお子さんは、予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象以外の方は、任意での予防接種が可能です。特に予防が必要な方は、「妊婦と同居する家族」と「妊娠を希望する十代後半〜四十代の女性」のうち、次の①〜④のいずれかに当てはまる方です。

- ① 風しんにかかったことがない。
- ② 風しんの予防接種を受けたことがない。
- ③ 風しんの抗体価が十分でない。
- ④ ①〜③に当てはまるかわからない。

なお、予防接種を受ける前に、風しんの抗体価について確認したい場合は、医療機関において任意で検査を受けることができます。



私たちは「町ぐるみん白岡」の活動を応援しています。

- 白岡ライオンズクラブ
- テクノパーク白岡協同組合
- 日産化学株式会社
- 株式会社トムス
- 白岡蓮田環境事業協同組合
- 有限会社西野商事
- 株式会社ハイグレード
- 株式会社サンワ環境開発



埼玉県では、大人の風しん抗体検査を無料で受けられる制度があります。対象者や方法等の詳細については埼玉県のホームページで確認できます。

また、白岡市では、予防接種の対象者の方に、大人の風しん予防接種費用の一部を助成しています。対象者や方法等の詳細については、白岡市のホームページで確認できますので、是非ご覧ください。

白岡市のホームページへのアクセスには、左記のQRコードをご利用ください。

正しい知識を身につけて、周りの大切な方々を守っていただきたいですね。

